



鶏 鳴

けいめい

〒221-0864

横浜市神奈川区菅田町2851

(電話 045-473-7191)

パウロの言葉

「教会はキリストの体であり、すべてにおいてすべてを満たしている方の満ちておられる場です」

聖書(エフェソ書1章23節)

牧師 河合裕志

教会ってなんだろう。「礼拝や集会に使用する建物」ではないか。こう答える人は多いかも。古来、世界の多くの所に美しい教会を見ることが出来る。日本でも長崎の大浦天主堂とか横浜指路教会とか歴史的建造物と言われるものがある。わが新横浜教会も四方にステンドグラスが配置され美しい光が堂内に注がれている。

ところで2千年の昔、キリスト教が産声を上げた頃はまだ教会はなかった。信者の家に集まって礼拝を守っていた。今でも中国では政府に公認されている教会と非公認の教会(政府を批判する)があって後者は「家の教会」として礼拝を根気強く守っている。

こうした教会堂を持たないで信者宅に集まって礼拝をしているのは教会とは言えないのか。そんなことはない。それは立派な教会。ここで先ず覚えたいことは教会は建物である以前に「信者の群れ」であるということ。イエスは言っている。

「二人または三人がわたしの名によって集まる所には、わたしもその中にいるのである」(マタイ18章20節)。イエスの名=イエスご自身によって招かれ、イエスを礼拝するために集まった信者の群れこそ教会。

そしてイエスはここで大事なことを言

っている。「わたしもその中にいる」と。教会、礼拝の中にイエスは存在する、と。これをパウロ流に言い表したのが上掲のエフェソ書の言葉。これは教会の定義としては大変な優れもの。

先ず教会はキリストの「体」(ソーマ、ボディ)だと。今キリストはどこにいる? 天の父なる神の右に座している。死んで復活して栄光の体をもって。そして天父より委任を受けて頭、ヘッドとして教会と世界を治めている。

同時にキリストは地上にあって教会として存在。信者が集まって礼拝している、その只中に肉眼には見えない姿=聖霊として現臨している。礼拝における説教と聖礼典(洗礼式と聖餐式)を通して親しく臨んでくれている。すべて・万物において、万物を満たしている=成り立たせている方=キリストの満ちておられる場、これがキリストの体と言われる教会。

教会堂に身を運び礼拝に参加する、そこで今も生きているキリストに出会う、その命と力に与る。これは誠に幸いなこと。

集会案内

日曜礼拝：午前10時15分、日曜夕拝：午後6時

子どもの教会：日曜日午前9時

中高青年会：日曜日礼拝後

聖書を学び祈る会：水曜日午前6時、午前10時、午後7時

お話し会、(面談)：水曜日午後1時~7時